

やまなしの福祉

YAMANASHI WELFARE

福祉情報紙 11月号 2005年 NO.268



子育てサロン「お母さんとちびっ子の会」～塩山市大藤公民館～

CONTENTS

特集	子育て支援	2～3
・福祉人材センターニュース	平成17年度上半期の求人求職動向ほか	4
・ほっとすぽっと	たんぼぼ会で24年	6
・福祉施設訪問	特別養護老人ホーム・いちいの木	7
・広がれ！地域福祉	南アルプス市社会福祉協議会	8
・おしらせ	共同募金にご協力を	8

発行 社会福祉法人 山梨県社会福祉協議会

〒400-0005 甲府市北新一丁目2-12 TEL 055-254-8610 FAX 055-254-8614
<http://www.y-fukushi.or.jp/>

子育ての喜び皆で実感を

特集 子育て支援



社会全体で子育てを支援することが求められている

今年2月、県は「やまなし子育て支援プラン」を策定しました。このプランは、次の世代を担う子どもたちが健やかに生まれ育つ環境をつくるために、県と県民が一体となって取り組む計画です。今月号では、このプランの概要についての紹介と、子育て支援を行う立場からNPO法人、当事者の立場からは山梨県保育所保護者連合会、それぞれの代表が考えている、子育てについての施策や課題について、お話を伺いました。

県が3つのプロジェクト推進

急速に少子化が進行するなか、平成16年度には、本県の出生児数は、7527人と昭和22年の3分の1にまで減少

しています。また合計特殊出生率についても、1・36と過去最低を記録しました。

このため県は、社会全体で子どもや子育て家庭を支援するために、平成17年度を初年度とし「子育ての喜びを実感できる社会の実現」を基本理念とする「やまなし子育て支援プラン」(5カ年計画)を策定しました。

プランでは、本県の地域特性を生かした取り組みや、特に力を入れる必要がある新規事業などを、3つの「重点プロジェクト」として位置づけることにしました。

「地域で子育てプロジェクト」では、全国的にも上位にある元気な高齢者や地域活動を生かした新たな取り組みや、地域のニーズに応じた保育サービスの拡充など、地域での子育てを支援する事業を

推進していきます。

また「安心子育てプロジェクト」では、子育てに関する悩みや不安を和らげるために、県の総合相談窓口の整備や市町村の相談窓口への支援、子育て支援情報の提供、小児救急医療体制の整備など、安心して子育てができる環境を整備します。

さらに「企業も子育て応援プロジェクト」では、企業に子育てしやすい職場環境づくりに取り組んでもらうよう、普及啓発や子育て応援企業の広報など、企業の子育て支援活動を支えていきます。

プランの推進にあたっては、毎年事業の実施状況を公表していくとともに、子育て中の親と知事が意見交換を行う「やまなし子育てトーク」の開催など、当事者の生の声を、施策の推進に生かすことにしています。

豊かな自然環境と地域に根ざした人と人との交流や互助活動など、本県の地域特性を生かし、山梨ならではの子育て環境の確立を目指して、プランに掲げた施策・事業を着実に展開していきます。

(山梨県児童家庭課)

NPO法人「ちびっこはうす」

宮沢 由佳代表

NPO法人子育て支援センター「ちびっこはうす」代表の宮沢由佳さんは、山梨に引っ越してきた平成3年、子育てを相談し合う仲間をつくりたいと甲府市宮原町に、親子で遊びを学んだり、母親同士で情報交換をする施設を開設しました。



以降、子どもの救急外来など、子育てママたちが、必要とする情報をまとめた月

刊情報誌「ちびっこぶれす」を発行するほか、県内25の子育て支援グループに呼びかけ、「ママネットやまなし」を結成するなど、子育て支援に先駆的な活動をしています。

地域にあった支援策必要

母親が主体のセンターに

宮沢代表に子育て支援について、伺いました。

●現在の子育ての状況と課題について

宮沢 現代の母親たちは、核家族の中で育ってきたせい、子どもに接する経験が不

足しています。周囲に育児経験者がいない人も多い事から、身近な地域でこの経験不足を補っていくことが大切です。また地域によって異なる子育てニーズにどう答えてい

けではなく、いろんな子どもがいて、ああいう子どももいるんだということが分かる。共感できる母親が集まり、目標となる母親も見つかる、また中高年の育児経験者がいるんな視点から親子を見守ってくれる、そこに学生がきて育児の疑似体験をする、そんな経験のできる場所づくりが大切です。

二つめは、母親が主体となるセンターづくりです。

子育て中の母親たちを単に、子育て支援のお客さん扱いするだけでなく、時として望むものを自分たちで努力して創っていく主体となってもらうことも大切です。そうすると、ニーズに合ったもの

ができあがるんです。その過程でいろんな人と出会い、経験を積むことで、母親たちも人間として強く成長していきます。

●将来の展望について
宮沢 スタッフに支払う給与などの財源や母親たちが主体となる子育て支援の意識づくりなど、多くの難問を抱えています。行政や住民、そして子育て中の母親たちと協力するなかで、これからの地域のニーズに根ざした子育て支援に取り組んでいきたいと思えます。

山梨県保育所保護者連合会

内田 美穂会長

内田美穂さん（韮崎北西小学校教諭）は、山梨県保育所保護者連合会の会長であり、3歳と5歳の2児の母親でもあります。保育所保護者の代



表として、また子育てをする当事者として、子育

て支援について尋ねました。●情報伝達の方法について
内田 行政が作るハンドブックや子育てに関する各種会

情報の提供方法に工夫を

親子で成長できる環境も

議内容など、子育てに関する情報は役所やその関連窓口などに置くだけでなく、受け手の立場を考えた情報提供の工夫が必要ですね。具体的には、

会のお便りと一緒に伝えてみてはどうでしょうか。

子育て環境や計画を整え、それが確かに浸透していくことで、子どもを産んでいき

いという動機付けにもつながればよいですね。

●子育て支援の内容について
内田 子育てについて、単に親ばかりを支援するのではなく、親と子が共に育つような支援にすることが大切だと思えます。親も同様ですが、子どもが育つには、十分な睡眠、食事そして安心（愛情）の積み重ねが必要です。

睡眠が足りなければ、イライラします。家に帰って安心できなければ、外に出てもやっぱり落ち着きません。腹ペこ

だったら、やる気もありません。共働きで忙しいことの多い親達も、十分な育児をし、子どもとの関わりを通して、親自身も成長できるような環境づくりが必要ですね。

身近に、子育てについて専門的に相談できる場所や、親が急に具合が悪くなった時など、安心して子どもを預けられる一時保育所の設置が望まれます。また医療機関窓口での医療費の無料化や、経済的な面でも保育料の地域格差の解消が待たれます。

福祉人材センターニュース

ホームヘルパーステップアップ研修会に約40人が参加

センターでは、9月22日・26日の両日、笛吹市の国民年金保養センターかすがいで「平成17年度ホームヘルパーステップアップ研修会」を開催しました。
県内の訪問介護事業所で働くホームヘルパー約40人が参

加し、講義や実技講習などに臨みました。
1日目は、病気や障害、認知症への理解と高齢者虐待問題について学び、午後の講義では「ホームヘルパーの現状と課題」をテーマにグループ討議が行われました。
討議は、事前に提出されたアンケートを基に進められ、日頃の悩みや今後の目標など課題点が積極的に話し合われました。

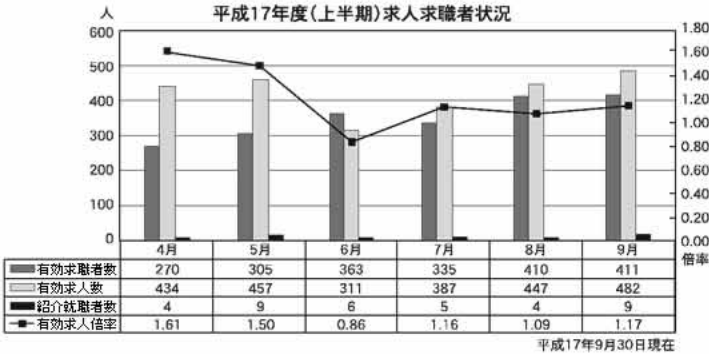


ステップアップ研修会のグループ討議

グループ毎の発表では「事業所内でのミーティングの機

会をもっと増やしていきたい」「各事業所の労働賃金に差があるので一定の基準を定めてほしい」など活発な意見や要望が出され、課題の共有化が図られました。
2日目は、県介護福祉士会の指導による実技講習が行われ、ベッドと車椅子を使用し、最新の介護の技術を学びました。
センターでは、来年度もホームヘルパーの質の向上やレベルアップのために研修会を開催していく予定です。

平成17年度(上半期)求人求職者状況



平成17年度(上半期)求人求職動向

平成17年度の上半期の求人求職状況は、求人が求職者を上回る状況 上の表 が多く、求職者への需要が高まっています。

求人の内訳 を見てみますと、老人福祉分野で、勤務形態としてはパートや常勤、職種としては、介護職員の求人が多く、その中で、介護福祉士やホームヘルパーといった

有資格者の求人がほとんどを占めています。また介護支援専門員や看護師の求人に関しては、依然、採用困難職種となっています。

求職者に関しては、老人福祉分野で、勤務形態は正規、職種としては、夜勤のないデイサービス事業所の介護職員としての求職が多くなってきました。また近年では、小さいお子さんをもつ母親の求職者も増加してきており、短時間の労働を望む求職者の方も増えてきています。

介護の負担をお助けします

株式会社 サカイゴ

介護用品・福祉用具・住宅改修

玉穂店 〒409-3803 中巨摩郡玉穂町若宮13-4 TEL055-274-1152
シルバード 〒400-0027 甲府市富士見1-3-28 TEL055-251-1121

各種御会合承ります

ベルクラシック
甲府市丸の内1-1-17
TEL 055-253-4345

財団法人 山梨日日新聞厚生文化事業団

サポートします
やまなしの福祉

〒400-8505 甲府市北口2-6-10 TEL055-231-3106

求人情報

(平成17年10月21日現在)

求人票番号	施設種別	求人職種	雇用形態	勤務地	募集人数	資格要件(◎必須 ○いずれか必須 △望む)	年齢
0170181	痴呆対応型共同生活介護	介護職員	常勤(1年)	山梨市	1	◎ヘルパー2級	不問
0170184	特別養護老人ホーム	介護職員	パート	甲斐市	2	△介護福祉士△ヘルパー2級	不問
0170185	特別養護老人ホーム	栄養士	正規	甲斐市	1	◎管理栄養士	不問
0170188	知的障害者更生施設(入所)	生活支援員	常勤(1年)	甲府市	2	不問	20~30
0170189	老人デイセンター	介護職員	パート	南アルプス市	1	◎ヘルパー2級	30~55
0170190	保育所	保育士	常勤的非常勤	甲府市	1	◎保育士	不問
0170191	認知症対応型共同生活介護	介護職員	パート	甲斐市	1	◎ヘルパー2級	不問
0170192	身体障害者居宅介護事業	ホームヘルパー	パート	甲斐市	3	○介護福祉士○ヘルパー2級	不問
0170193	身体障害者療護施設	介護職員	パート	甲斐市	1	△ヘルパー2級	不問
0170195	重度心身障害児通園事業	保育士	常勤(1年)	甲府市	1	○保育士○小学校教諭○幼稚園教諭	20~40
0170196	訪問介護	ホームヘルパー	パート	笛吹市	2	◎ヘルパー2級	不問
0170199	痴呆性老人グループホーム	介護職員	パート	甲府市	1	◎ヘルパー2級	不問
0170211	通所介護	生活相談員	正規	笛吹市	1	◎介護福祉士	不問
0170207	保育所	保育士	パート	南アルプス市	1	◎保育士	20~40
0170210	通所介護	看護師	正規	甲府市	1	○看護師○准看護師	不問
0170212	特別養護老人ホーム	看護師	正規	甲府市	2	○看護師○准看護師	不問
0170204	認知症対応型共同生活介護	介護支援専門員	正規	南アルプス市	1	◎介護支援専門員	不問
0170205	短期入所生活介護	介護職員	正規	甲府市	2	○介護福祉士○ヘルパー2級	不問
0170206	訪問介護	ホームヘルパー	パート	笛吹市	2	◎ヘルパー2級△介護福祉士△ヘルパー1級	25~50
0170214	特別養護老人ホーム	介護職員	正規	飯沢町	1	不問	20~40
0170213	保育所	保育士	パート	甲府市	3	◎保育士	22~50
0170216	保育所	保育士	パート	南アルプス市	1	◎保育士	20~40
0170220	特別養護老人ホーム	介護職員	パート	甲府市	3	○介護福祉士○ヘルパー2級	25~40
0170231	特別養護老人ホーム	その他	正規	甲府市	1	◎管理栄養士	不問
0170225	認知症対応型共同生活介護	介護職員	常勤(1年)	山梨市	2	◎ヘルパー2級△介護福祉士	不問
0170226	認知症対応型共同生活介護	介護支援専門員	常勤(1年)	山梨市	1	◎介護支援専門員	不問
0170227	認知症対応型共同生活介護	生活相談員	常勤(1年)	山梨市	2	○社会福祉士主事○介護福祉士○社会福祉士	不問
0170228	認知症対応型共同生活介護	看護師	常勤(1年)	山梨市	2	○看護師○准看護師	不問
0170229	老人保健施設	看護師	正規	甲府市	2	○看護師○准看護師	不問
0170230	老人保健施設	介護職員	正規	甲府市	2	○介護福祉士○ヘルパー2級	不問
0170232	保育所	看護師	常勤的非常勤	昭和町	1	◎看護師	不問
0170233	保育所	保育士	常勤的非常勤	昭和町	3	◎保育士	不問
0170235	知的障害者更生施設(入所)	生活指導員	常勤(1年)	笛吹市	2	不問	20~40
0170236	児童養護施設	保育士	パート	甲府市	2	◎保育士	不問
0170237	認知症高齢者グループホーム	介護職員	パート	甲府市	4	△介護福祉士△ヘルパー2級	不問
0170242	知的障害者更生施設(入所)	栄養士	常勤(1年)	韭崎市	1	◎栄養士	不問
0170243	保育所	看護師	パート	昭和町	1	◎看護師	25~45
0170244	認知症対応型共同生活介護	介護職員	正規	南アルプス市	2	◎ヘルパー2級△介護福祉士	不問
0170249	特別養護老人ホーム	介護職員	正規	笛吹市	2	△ヘルパー2級△介護福祉士	20~60
0170250	特別養護老人ホーム	介護職員	パート	笛吹市	3	△ヘルパー2級	20~60
0170251	特別養護老人ホーム	介護職員	常勤(1年)	笛吹市	2	△ヘルパー2級△介護福祉士	20~60
0170252	知的障害者地域生活支援事業	ホームヘルパー	その他	甲府市	2	◎ヘルパー2級	不問
0170255	訪問介護	ホームヘルパー	非常勤	甲府市	3	◎ヘルパー2級◎ヘルパー1級◎准看護師	不問
0170256	訪問介護	ホームヘルパー	非常勤	韭崎市	3	◎ヘルパー2級	不問
0170257	特別養護老人ホーム	看護師	正規	笛吹市	2	○准看護師○看護師	不問
0170258	老人デイセンター	介護職員	常勤(1年)	山梨市	2	◎ヘルパー2級△介護福祉士	不問
0170261	特別養護老人ホーム	看護師	正規	甲斐市	4	○看護師○准看護師	18~40
0170259	老人デイセンター	介護職員	パート	山梨市	2	◎ヘルパー2級△介護福祉士	不問
0170260	養護老人ホーム(盲)	介護職員	常勤(1年)	笛吹市	2	○介護福祉士○ヘルパー2級	20~40
0170265	特別養護老人ホーム	介護職員	常勤(1年)	南アルプス市	1	△ヘルパー2級	20~45
0170266	宿所提供施設	その他	常勤(1年)	笛吹市	1	不問	20~40
0170268	認知症高齢者グループホーム	介護職員	パート	甲斐市	2	△介護福祉士△ヘルパー2級	不問
0170269	訪問介護	ホームヘルパー	パート	甲府市	2	◎ヘルパー2級	不問
0170270	保育所	保育士	常勤(1年)	笛吹市	1	◎保育士	不問
0170271	通所介護	介護職員	常勤(1年)	甲府市	1	○社会福祉士○社会福祉主事◎ヘルパー2級	不問
0170272	通所介護	介護職員	パート	甲府市	2	◎ヘルパー2級	不問
0170273	特別養護老人ホーム	介護職員	正規	身延町	3	△介護福祉士△ヘルパー2級	不問
0170275	通所介護	生活指導員	正規	甲州市	1	◎ヘルパー2級△介護福祉士	35~45
0170293	通所介護	介護職員	正規	甲府市	3	○介護福祉士○ヘルパー1級○ヘルパー2級	20~50
0170281	老人デイサービス事業	栄養士	正規	南部町	1	△調理師△栄養士	不問
0170282	老人デイサービス事業	看護師	パート	南部町	1	○看護師○准看護師	不問
0170283	老人デイサービス事業	看護師	正規	南部町	1	○看護師○准看護師	不問
0170284	老人デイサービス事業	生活指導員	正規	南部町	1	○社会福祉士○社会福祉主事○介護福祉士	不問
0170285	老人デイサービス事業	介護職員	常勤的非常勤	南部町	1	△介護福祉士	不問
0170286	認知症高齢者グループホーム	介護職員	常勤的非常勤	南部町	1	△介護福祉士	不問
0170287	認知症高齢者グループホーム	介護支援専門員	正規	南部町	1	◎介護支援専門員	不問
0170288	認知症高齢者グループホーム	介護支援専門員	パート	南部町	1	◎介護支援専門員	不問
0170290	通所介護	生活相談員	正規	笛吹市	1	◎社会福祉主事△介護支援専門員	不問
0170289	保育所	保育士	正規	甲府市	1	◎保育士	20~40
0170291	知的障害児通園施設	保育士	常勤(1年)	市川三郷町	1	○保育士○児童指導員	20~40
0170292	老人デイセンター	介護職員	パート	市川三郷町	3	○介護福祉士○ヘルパー1級○ヘルパー2級	不問
0170294	知的障害児通園施設	保育士	パート	甲府市	1	◎保育士△幼稚園教諭	不問
0170295	身体障害者療護施設	介護職員	常勤(1年)	甲府市	1	不問	20~40
0170296	保育所	保育士	非常勤	甲府市	1	◎保育士	20~50
0170297	特定施設入所者生活介護	介護職員	正規	甲府市	1	○介護福祉士○ヘルパー1級○ヘルパー2級	18~60

※この他、福祉関係の求人が150件あります。求人については、山梨県社会福祉協議会福祉人材センターまで、お気軽にご相談ください。 TEL055-254-8654



「たんぽぽ会」代表

倉田 俊子さん

山梨市の日川沿い、桃畑に囲まれた特別養護老人ホーム桃源荘（鈴木賢浄荘長）の居室。ボランティアグループ「たんぽぽ会」のメンバーが、手際よく冬の掛け布団に替えていきます。お年寄りから「暖かくなったよ」と声がかかります。倉田俊子さ



お年寄りの布団を整える
倉田俊子さん（右）

お年寄りを支えて24年

居者の衣類の繕い、ズボンの裾上げ、掛け布団の包布替え、庭の草取りなどを手際よく行います。桃源荘職員との息もピッタリです。作業の際は、お年寄り一人ひとりに声を掛け、話し相手にもなります。このほか毎月第3水曜日は、お花の先生が生け花を指導します。スポンジに花を挿し、出来上がった作品を絵に描いて飾りま

「お互いさま」の気持ちで

居者の衣類の繕い、ズボンの裾上げ、掛け布団の包布替え、庭の草取りなどを手際よく行います。桃源荘職員との息もピッタリです。作業の際は、お年寄り一人ひとりに声を掛け、話し相手にもなります。このほか毎月第3水曜日は、お花の先生が生け花を指導します。スポンジに花を挿し、出来上がった作品を絵に描いて飾りま

です。夏は納涼祭を手伝い、一緒に花火を楽しみます。倉田さんは昭和53年に高校の先生を退職しました。「退職して地域に目を向けると世界が広がり、地域のためになんかしたいと思ったのがきっかけです」。ボランティアという言葉がまだ耳慣れない時代の市2、3歳児検診で託児ボランティアをした後、たんぽぽ会設立に加わりました。「だれもが年をとって、自分もやがて体の自由が効かなくなり。元気な間は役立つことをしたい。『お互いさま』をしているだけです」

亡き夫・久さんは障害児教育にも携わり、退職後はボランティアに。倉田さんの持論は、無理なボランティアはしないこと。「自分の仕事を犠牲にしてまですることはありません。地道に長続きする活動が大切」といいます。

最近では成実作業所の知的障害者が桃源荘でボランティアに加わっています。タンポポの綿毛が飛んで、3人が51人に、そして24年の歳月。タンポポはまた一つ増えました。

みんなの健康

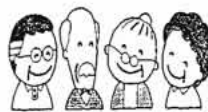
お年寄りどくすり

高齢になると内臓の機能が低下してくるので、薬の作用が強く現れる場合があります。複数の病気を抱えて多種類の薬を使用している人も少なくありません。飲む量、飲み方などについて、十分配慮する必要があります。新しく薬を購入する時は、



現在使用している薬（大衆薬、医師から処方された薬）を必ず薬局、薬店に伝えましょう。また大衆薬は誰もが安全に使えるよう用法・用量が定められています。高齢者が一般成人と同じ量を使用すると効き目が強く現れてしまう場合があります。初めは少なめに使用し、様子を見ながら用量内で増やしていくとよいでしょう。

家族の方は、薬を飲む時にはそばについてあげるなど、気をつけるようにしましょう。（身延保健所）



- 介護ベッド
- ステッキ、補聴器
- 寝装品
- 紙おむつ、おむつカバー
- 入浴機器、入浴用品
- 車いす、歩行器
- 床ずれ防止器、マット
- 便利バジャマ、わまき、下着類
- 尿器、ポータブルトイレ
- 健康器具類

フランスベッド
メディカルサービス甲府支店

☎(055)228-5050 FAX.055-223-0130 甲府市丸の内3-33-5

名鉄観光 サービス株式会社

甲府営業所

〒400-0031 山梨県甲府市丸の内1-8-12 白木屋ビル内

Tel 055-228-3221 Fax 055-228-1457

福祉関連各種大会・研修会・職場旅行等
お気軽にご相談ください。

福祉施設
訪問

忍野村・特別養護老人ホーム いちいの木
雄大な富士山の麓で「自分らしい生活」を

レクリエーションで青春時代の歌を合唱



特別養護老人ホーム「いちいの木」は、オープンして2年6カ月。富士北麓の緑と清流に恵まれた自然豊かな忍野村にあります。施設の窓からはヒマワリ、コスモス、ソバの花など四季折々の花が見事に咲き誇り、色彩の美しさは、入所者の心を癒しています。

訪れてまず感じたことは、施設内の廊下スペースが広くとられていること、各部屋とも採光がうまく施され、壁や天井などの色彩も美しく、とても明るい造りになっていること、さらに晴れた日には各部屋から窓の正面に雄大な富士の山を見ることができるとです。地域との交流と、縫い物の好きなお年寄りが一針一針ゆつくりと丁寧にごうきんを縫い、できあがった百五十枚を忍野中学校に寄付したという事です。忍野中学校でも生徒がボランティアとして行事や催しに参加し、お年寄りといふれあっています。

福祉関係の仕事は初めてという渡邊施設長は「この施設の自慢は、職員同士の人間関係が非常にうまくいっていることです。また個人に合ったケアの提供、あるがままに自分らしく生活を楽しんでいただけるように、好きな事を好きな時間に気ままにできるよう工夫していきたい。そして、地域の方に喜んでいただける施設をめざして、真心をこめて精進していきたいと思えます。優しい笑顔で話された施設長の言葉が印象的でした。」



いちいの木の外観

施設概要

施設名	いちいの木	構造	鉄筋コンクリート2階建て
住所	〒401-0512 忍野村内野字中賀背3572-1	定員数	一般棟60床・ショートステイ専門棟20床
電話	0555-84-1216	居室総数	25室（4人部屋18室、2人部屋1室、個室6室）
敷地面積	3510.98平方メートル		

安心を支えます

ボランティア活動保険

ボランティア活動中のケガや賠償事故を幅広く補償!



特長

- 活動場所と自宅との往復途上の事故も補償
- 防災・災害のボランティア活動も補償
- ボランティア自身の食中毒や熱中症も補償
- 地震等天災によるケガも補償(天災タイプ加入の場合)

ボランティア行事用保険

ボランティア行事に参加中のケガや賠償事故を補償!

福祉サービス総合補償

ヘルパー・ケアマネージャー等の活動中のケガや賠償事故を補償!

送迎サービス補償

送迎サービス中の交通事故によるケガを補償!

掛金 Aプラン...300円 Bプラン...500円 Cプラン...700円
天災危険補償タイプもあります。

お申込み、ご照会は、あなたの地域の社会福祉協議会へ

社会福祉法人
全国社会福祉協議会

この保険は、全国社会福祉協議会が保険会社と一括して契約を行う団体契約です。

取扱代理店 株式会社 福祉保険サービス

〒100-0013 東京都千代田区霞が関3丁目3番2号 新霞が関ビル17F

TEL:03(3581)4667 FAX:03(3581)4763

http://www.fukushihoken.co.jp

〈引受幹事会社〉日本興亜損害保険 株式会社

● 広がれ！ 地域福祉

南ア市社協の地域福祉活動計画

“あったか色のまちづくり”
住民参加で実現めざす

南アルプス市社協は、本年度「地域福祉活動計画」(愛称「あったか色のまちづくり計画」)を策定しました。

「わたしがつくる・みんながつくる・住民自立のまち」を基本理念とし、計画づくりに当たってはアンケートの実施や策定委員を一般市民の中から選ぶなど、住民参加を大切にしました。

特に、旧町村ごとに開催した住民座談会は、子供から老年寄りはもちろん、市内在住の外国人など様々な立場や年代の市民が集い、地域の「課題」や「解決方法」について話し合いを重ねました。

住民の声から浮かび上がった課題には、地域コミュニティの強化や、誰もが生きいきと暮らせるまちづくりなど5項目があり、「住民一人ひとりが地域福祉の担い手になる」「誰もが生きいきと暮らせる生活の仕組みをつくる」を基本目標に、地域住民の交流の拡充、災害や犯罪に強いまちづくりなど8項目の取り組み目標を定めました。

策定が進む中で、行政ができること、住民ができることが明確になり、社協はこれらを実現するために、役員一人ひとりの意見をもとに組織の方針や運営方法などを含めた「社協基盤強化」も検討しました。

同社協で計画の策定に携わってきた職員は「この計画はつくるのが目的ではありません。これからいかに実現していくかが大きな目的です」と語ってくれました。



樹形生涯学習センターで行われた計画策定報告会



あったか色のまちづくり計画書

お知らせ

共同募金にご協力を

今年も10月1日から12月31日までの3カ月間、赤い羽根共同募金運動が実施されています。



昨年度の目標額は、198,700,000円
実績額は、184,042,865円でした。
詳しい内容については、

下のアドレスよりご覧になれます。



www.akaihane.or.jp

共同募金は、民間の福祉施設の備品購入費、福祉団体の活動費や広報紙などの発行、または市町村の社会福祉協議会が行う福祉運動会、給食サービス事業や子どものあそび場の整備事業など、あらかじめさまざまな福祉活動に必要な要望を聞き「目標額(目安額)」を

定めています。今年度、山梨県内で最低これだけの資金が必要だという目標額は、1億9900万円です。皆さまの温かいご協力をお願いいたします。

高齢者福祉研究・交流フォーラム開催へ

●11月21日(月)
基調講演「介護保険制度改革について」厚生労働省老健局老人保健課課長補佐 神ノ田昌博氏
講演(Ⅰ)「小規模多機能ケアの現状と今後の課題」日本福祉大学教授 平野隆之氏
講演(Ⅱ)「介護保険制度改革に対する自治体の取り組み」東京都稲城市介護保険課長 石田光広氏
講演(Ⅲ)「これからの認知症ケアとセンター方式の活用」認知症介護研究・研修東京センター 永田久美子氏

●11月22日(火)
分科会(Ⅰ)「地域で暮らし続けられる社会に」
分科会(Ⅱ)「介護予防事業をどう進めるか」
分科会(Ⅲ)「地域密着型サービスの推進について」
☆パネルディスカッション「高齢者福祉の現状と将来」
立教大学教授 高橋紘士氏
厚生労働省大臣官房参事官 石黒秀喜氏
高齢者総合ケアセンターこぶし園長 小山剛氏
読売新聞社会保障部次長 猪熊律子氏
■参加対象者 どなたでも参加可(無料)
■主催・問い合わせ 中巨摩郡社会福祉協議会(電話 055・237・1381)

第3回やまなしボランティアフェスティバルを開催

去る10月15日(土)、都留市・うぐいすホールをメイン会場に、第3回やまなしボランティアフェスティバ

ルを開催いたしました。都留市のボランティアや福祉関係者・南北都留地区内社協など多くの方々を中心となって行われたフェスティバルには、約4千人が参加しました。日頃の活動成果を含めた様々な発表プログラムや、点字・手話体験等参加体験型のプログラムなどが繰り広げられ、ボランティア同士が交流したり活動内容を確認し合ったりと、明日の活動につながる糧となったのではないのでしょうか。今回は、都留文科大生など、多くの若い世代のボランティアの協力が得られ、障害をもつ方々の参加もあり、多くの新しい取り組みが深まりました。来年(第4回)は笛吹市での開催を予定しています。また皆さんにお会いできることを楽しみにしています。